

## 職能要件書 職能評価項目

職種	介護
専門部署	(入所介護)

完全にできている	0	←半角数字の「0」(ゼロ)を入力
まだ不十分	*	←半角の「*」(アスタリスク)を入力

「0」が90%以上あれば、この等級は完全クリアーしている。

部署	
氏名	
現状把握時の等級	
仮格付け時の等級 (給与レベルにあった 当初の等級)	
第1回評価時の等級	
第2回評価時の等級	

### 【入力手順】

- 1.今年度の等級を左枠で確認し、該当等級までの項目を全てチェックして下さい。  
(該当しない項目はその行を削除してください)
- 2.「等級」は「独力対応等級」の欄に記載してあります
- 3.「0」又は「\*」を入力 (○×は入力が大変な為、この記号を使用します)  
※次年度は「\*」の付いている項目のみチェック。但し、等級が上がる方は上の等級もチェックが必要です。

単位業務 (大まかな区分)	作業名	作業内容 (～して～ができる)	独 等 級 対 応	現 状 レ ベ ル 把 握 の 為 の 評 価	第1回 評価 ( )	第2回 評価 ( )	
生活援助	季節行事・小外出等の実施 (施設内行事)	1 過年度の評価と反省を踏まえながら、行事計画に沿った行事の計画・実施ができる	2				
		2 関連する他部門との連絡調整(規模・開催日等)が円滑に速やかにできる	2				
		3 行事計画書の作成・提出が決められた期限までに、速やかにできる	2				
生活援助	季節行事・小外出等の実施 (施設内行事)	4 年度計画の予算に従って、実施準備(仮払書等の作成・物品・会場の確保等)ができる	2				
		5 行事終了後は、速やかに行事報告書の作成・提出(反省・収支報告・仮払いの精算等)ができ、部門長への報告が行える	2				
	行事、クラブ等の立案と実施 (1)	1 利用者の症状・状態に応じた、離床活動、趣味活動の企画、立案ができる	2				
		2 利用者の症状・状況に応じた離床活動、趣味活動の実施が関連部門との協力により行える	2				
		3 利用者の症状・状況に応じた外出の企画、立案、実施が、関連部門との協力により行える	2				
		4 利用者の症状・状況に合わせ、利用者の希望に添った買物への援助ができる	2				
		5 記録の作成、報告が適切に行える	2				
	ケアプランの実施	ケアプランの実施	1 利用者個々の症状・状況に合ったケアプランの実施ができる	2			
			2 関連部門との連携により、適切な経過観察(モニタリング)ができる	2			
			3 関連部門との連携により、再評価のための必要な情報収集が行える	2			
4 必要に応じたケアプラン変更の提案ができる			2				
5 基準に従って、必要な記録・報告が適切に行える			2				
健康管理	要観察者への対応(身体衰弱者等)	1 医師や看護師の指示に基づき、酸素吸入の準備と実施・交換(流量・残量のチェック)が行える	2				
生活援助	行事、クラブ等の立案と実施 (2)	1 過年度の評価と反省を踏まえて、関連部門との連携を取って、年間行事計画の作成が行える	2				
		2 過年度の評価と反省を踏まえて、関連部門と連携を取って、定型行事の企画、立案、実施ができる	2				
		3 利用者の要望に配慮して、クラブ活動の企画、立案、実施ができる	2				
		4 関連部門と連携を取りながら、必要に応じた広報ができる	2				
		5 記録の作成、報告が適切に行え、今後に生かすことができる	2				
	外出支援	1 利用者が安全に外出できる場所の選定・提案ができる	2				
		2 外出先の店舗等と事前に打ち合わせ・交渉ができる(車椅子などの必要物品を借用する事ができる)	2				
健康管理	ターミナルの援助	1 ターミナル援助基準に沿った、利用者の観察ができる	2				
		2 利用者・家族が望む医療行為等について把握し、必要におうじて他部門との連携が取れる	2				
		3 家族の気持ちを傾聴し、家族の精神的フォローができる	2				
		4 利用者・家族の身体的・精神的な苦痛緩和のための援助ができる	2				
		5 基準にしたがって、必要な死後の処置ができる	2				
		6 基準に従って、必要な記録が適切に行える	2				

単位業務 (大まかな区分)	作業名	作業内容 (～して～ができる)	独 等 級 対 応	現状レベ ル把握の 為の評価	第1回 評価 ( )	第2回 評価 ( )
送迎	ショート送迎	1 送迎車両のリフトの操作がマニュアルに沿って確実に出来る	2			
		2 利用者個々の症状・状況に応じた送迎者への乗降支援ができる	2			
		3 利用者個々の症状・状況に応じた、ひとり暮らし利用者宅の防火防犯予防に対する措置・助言ができる	2			
		4 送迎中の利用者の心身状態の観察ができ、緊急時には送迎マニュアルに沿った対応ができる	2			
		5 送迎時家族等との情報交換・報告が確実に出来る	2			
		6 送迎時に持参される荷物や薬の確認ができる	2			
		7 利用者の症状・状況に応じた送迎中の安全確保(着座位置、シートベルト等の確認)が行える	2			
		8 送迎時の緊急事態(交通事故や車両の故障等)に対する対応(安全対策・連絡)が的確に行える	2			
		9 送迎時に、酸素の確認をし、残量がない場合は、携帯酸素の使用方法を把握し、ボンベの交換が確実にできる	2			
		10 失禁及び嘔吐下痢があった場合、車両の清掃・消毒がマニュアルに沿ってできる	2			
		11 事前に担当する利用者の出欠席および使用車両等を把握し、必要時は関係スタッフと送迎順やルートの確認・時間調整ができる	2			
		12 荷物等の忘れ物がないか適切に確認できる	2			
		13 利用拒否等の場合でも適切に声かけや促し、次の方への影響を最小限にするための連絡や報告・相談ができる	2			
		14 送迎時に聴取・確認した情報について、適切に関係スタッフに伝達することができる	2			
	病院受診(定期受診、健康診断)	1 受診内容に応じた準備ができる(既往歴の把握、着替え、薬等)	2			
研究発表①	特養内発表	1 特養内研究会発表ができる(各自テーマを選定して発表)	2			
新人教育	新入職員の教育(パート含む)	1 新人の世話役である「プリセプター」として、技術知識の指導、悩みや問題整理、アドバイスができる	2			
<b>2等級職員の等級判定(○の個数)・3年～5年の中堅クラス</b>			個数	0	0	0
<b>2等級職員の○取得率</b>			46	0%	0%	0%